

人口減少・高齢化対策プロジェクト「スタートアップふくしま尾瀬事業」 ふくしまの宝「尾瀬」の魅力を国内外へ発信！



生活環境部自然保護課
矢吹直美（行政事務）

事業紹介

福島県を含む4県にまたがり、本州最大の高層湿原を有する尾瀬国立公園。福島県では、福島県側から楽しむ尾瀬を「ふくしま尾瀬」と名付け、トレッキングや檜枝岐歌舞伎に代表される尾瀬周辺地域の多様な魅力を、動画やアウトドア誌を活用して発信しています。また、ふくしま尾瀬を訪れるきっかけづくりとして、アウトドアイベントやモニターツアーも開催しています。

国内外の多くの方にふくしま尾瀬を訪れていただき、尾瀬周辺地域の活性化に繋げることを目指しています。

事業を実施する中で乗り越えた苦労

尾瀬は雪が降るのが早く、10月には山小屋も閉まってしまうので、一般的な事業に比べて短期間での勝負となります。

また、県庁から距離があるため現地の方々と打合せをするにも時間がかかります。最初は地域の方々の名前を覚えるだけでも精一杯で、焦りが増すばかりでした。しかし、足繁く通ううちに地域の方々にも顔を覚えてもらい、連携してイベントなどを成功させることができました。



仕事のやりがい

民間企業に勤めたこともありますが、地域の課題に対して行政にしかできないアプローチが沢山あり、とてもやりがいを感じています。一方で、コスト意識など良い意味での「ヨソモノ視点」は忘れずにいたいと思っています。

必要な知識が多分野にわたり、日々勉強の毎日ですが、経験豊富な同僚の皆さんに助けをもらいながら取り組んでいます。



※掲載内容は、2020年3月現在のものです。